

平成 29 年度第 2 回市民意識調査結果概要

(総務局広報部市民の声を聞く課 TEL 211-2045)

■ 設計

調査期間	平成29年(2017年)8月18日(金)～9月1日(金)
調査方法	郵送法
調査対象者	札幌市全域の18歳以上の男女5,000人
抽出方法	住民基本台帳からの等間隔無作為抽出法

■ 回収結果

回収数	2,596通
回収率	51.9%

■ テーマごとの設問と主な結果 ※構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

テーマ1 札幌市中央卸売市場について

札幌市では、市民の皆さまへ生鮮食料品を安定的に供給することを目的として中央卸売市場を開設しております。市民の皆さまが、生鮮食料品の購入についてどのように考えているかをお聞きし、今後の中央卸売市場運営の参考とさせていただきます。

問1 札幌市中央卸売市場の認知度

「知っている」	66.8%
「知らない」	5.5%

《問1で「知っている」と答えた方を対象》

問1-1 札幌市中央卸売市場に対するイメージ

	「そう思う」	「わからない」	「そう思わない」
「北海道産の生鮮食料品を豊富に扱っている」	78.4%	16.1%	2.2%
「北海道だけでなく日本全国の生鮮食料品を豊富に扱っている」	35.4%	51.9%	9.9%
「生鮮食料品の安全・安心が確保されている」	54.6%	39.7%	2.5%
「生鮮食料品に関する知識の豊富な人材が従事している」	59.4%	34.8%	2.5%
「生鮮食料品の鮮度が良い」	72.2%	23.1%	1.9%
「衛生的な施設で管理されている」	41.2%	50.5%	4.7%
「市場を経由することで生鮮食料品の価格が安定する」	37.5%	48.8%	10.0%
「旬の生鮮食料品がいち早く集まってくる」	72.3%	21.7%	3.3%
「旬の食材に関する情報などを提供している」	33.9%	50.5%	12.0%

問2 生鮮食料品購入時の安全・安心に対する意識

「とても意識する」	50.6%
「少しは意識する」	40.3%
「あまり意識しない」	3.1%
「全く意識しない」	0.3%
「生鮮食料品を購入しない」	0.9%

問3 生鮮食料品購入時に安全・安心を感じる項目（複数回答）

「生産地が信頼できる場所である」	56.4%
「信頼できる店舗で販売されている」	55.1%
「売り場が清潔である」	51.8%
「生鮮食料品の見た目がきれいである」	29.0%
「安全・安心を保証する認証マークがついている」	26.0%

問4 安全・安心な生鮮食料品購入時の他の商品との価格差に対する意識

「三割より割高でも安全・安心なものを買う」	7.7%
「三割まで割高なら安全・安心なものを買う」	8.3%
「二割まで割高なら安全・安心なものを買う」	22.7%
「一割まで割高なら安全・安心なものを買う」	19.3%
「同じ価格なら安全・安心なものを買う」	35.5%

問5 生鮮食料品購入における旬の時期の意識

「とても意識して購入する」	22.3%
「少しは意識して購入する」	62.4%
「あまり意識しないで購入する」	11.3%
「全く意識しないで購入する」	1.5%

問6 旬の生鮮食料品に対するイメージ（複数回答）

「おいしい」	77.6%
「新鮮」	74.7%
「その季節しか食べられない」	60.3%
「栄養が豊富」	40.1%
「価格が安い」	33.0%

問7 生鮮食料品購入時の不満や不安（複数回答）

「価格が高い」	51.8%
「腐っていたり、痛んでいたりするものがある」	51.7%
「生産地がわかりにくい」	43.0%
「生産地（場所）に不安がある」	31.4%
「美味しそうに見えない」	23.0%

テーマ2 市政広報について

市民の皆さまから親しまれる広報を目指し、市政広報のあり方について見直しを進めていくための広報作成の参考とさせていただきます。

問8 「広報さっぽろ」を読んでいる割合

「必ず読んでいる」	39.8%
「時々読んでいる」	36.8%
「あまり読んでいない」	13.4%
「全く読んでいない」	8.7%

問9 読んでみたいと思う分野の記事（複数回答）

「公共施設」	43.0%
「地域のまちづくり活動」	38.9%
「健康・食」	36.0%
「文化・芸術」	33.5%
「ごみ」	32.5%

問10「データ放送」によるお知らせ配信の認知度

「知っていて、利用したことがある」	4.1%
「知っていたが、利用したことはない」	28.7%
「知らなかった」	66.3%

《問10で「知っていて、利用したことがある」、「知っていたが、利用したことはない」と答えた方を対象》

問10-1「データ放送」によるお知らせ情報配信の認知方法（複数回答）

「広報さっぽろ」	54.5%
「テレビ・ラジオ」	50.5%
「新聞」	13.1%
「データ放送で見た」	13.0%
「家族や知人から聞いた」	8.1%

問11「スマホアプリ（iさっぽろ）」によるお知らせ情報配信の認知方法

「知っていて、利用したことがある」	1.5%
「知っていたが、利用したことはない」	18.1%
「知らなかった」	78.5%

《問11で「知っていて、利用したことがある」、「知っていたが、利用したことはない」と答えた方を対象》

問11-1「スマホアプリ（iさっぽろ）」によるお知らせ情報配信の認知方法（複数回答）

「広報さっぽろ」	62.2%
「テレビ・ラジオ」	42.5%
「新聞」	15.7%
「家族や知人から聞いた」	11.2%
「札幌市公式ホームページ」	9.6%

問12「広報さっぽろ」の情報ページが縮減した際のお知らせ情報の入手手段（複数回答）

「札幌市公式ホームページ」	29.9%
「データ放送」	22.3%
「スマホアプリ」	21.3%
「札幌市公式SNS」	8.0%
※「上記の電子媒体では入手しない」	13.4%
※「わからない」	26.9%

《問12で「上記の電子媒体では入手しない」と答えた方を対象》

問12-1 電子媒体で札幌市の情報発信を入手しない理由（複数回答）

「紙媒体で読みたいから」	53.0%
「スマホやパソコンなど、インターネットにつながるものを持っていないから」	41.0%
「自分で情報を集めたり探したりするのが面倒に感じるから」	26.6%
「どうやって情報を集めたり探したりすればよいのか分からないから」	19.5%
「イベント情報を知りたいと思わないから」	9.2%

テーマ3 スポーツについて

市民の皆さまのスポーツに関する活動の現状をお聞きし、今後のスポーツ環境整備のための参考とさせていただきます。

問13 1年以内にスポーツを行った割合

「スポーツを行った」	39.4%
「スポーツを行わなかった」	58.2%

問14 今後行いたいウィンタースポーツ（複数回答）

「スキー」	24.7%
「スケート」	12.9%
「スノーボード」	11.6%
「カーリング」	10.1%
※「ウィンタースポーツを行いたいと思わない」	41.6%

《問14でいずれかのウィンタースポーツに○をつけた方を対象》

問14-1 ウィンタースポーツを行う上での妨げ（複数回答）

「仕事や家事が忙しい」	38.0%
「用具購入にお金がかかる」	36.5%
「施設利用料が高い」	25.4%
「病気・体力・年齢」	23.3%
「施設へのアクセスが悪い」	21.0%

問15 今後行いたいウィンタースポーツ以外のスポーツ（複数回答）

「ウォーキング、散歩」	49.7%
「筋力トレーニング」	22.7%
「水泳、水中ウォーキング」	19.3%
「エアロビクス、ヨガ」	17.1%
「キャンプ、海水浴」	14.1%
※「スポーツを行いたいと思わない」	7.6%

《問15でいずれかのスポーツに○をつけた方を対象》

問15-1 ウィンタースポーツ以外のスポーツを行う上での妨げ（複数回答）

「仕事や家事が忙しい」	35.1%
「病気・体力・年齢」	28.4%
「施設の利用日や時間が限られている」	21.3%
「一緒に活動する仲間が少ない」	17.2%
「施設利用料が高い」	17.2%

問16 1年以内に直接観戦したスポーツ（複数回答）

「プロ野球」	33.0%
「プロサッカー」	7.5%
「マラソン、駅伝」	6.2%
「アマチュア野球（児童・学生を含む）」	4.8%
「ゴルフ」	4.0%
※「観戦しなかった」	48.9%

《問16でいずれかのスポーツに○をつけた方を対象》

問16-1 直接スポーツ観戦をしたきっかけ（複数回答）

「チームや選手のファン」	37.4%
「チケットを入手した」	35.1%
「家族や知人からの誘い」	31.3%
「自分がそのスポーツをしている（していた）」	19.8%
「観戦する施設が近い」	14.6%

《問16で「観戦しなかった」と答えた方を対象》

問16-2 直接スポーツ観戦をしたいと思うきっかけ（複数回答）

「観戦する施設が近い」	35.7%
「手軽にチケットを入手できる」	32.6%
「家族や知人からの誘い」	32.5%
「家族や知人が出場する」	26.8%
「国際大会が札幌で開催される」	9.7%

問17 「スポーツボランティア」参加経験の有無

「参加したことがある」	8.1%
「参加したことがない」	89.0%

問18 「スポーツボランティア」への参加意志の有無

「したいと思う」	18.8%
「したいと思わない」	71.3%

《問18で「したいと思う」と答えた方を対象》

問18-1 「スポーツボランティア」への参加を決める際に重視するもの（複数回答）

「時間や期間が適度であること」	73.8%
「身近な場所で参加できること」	66.1%
「イベント・大会に魅力があること」	46.6%
「ボランティアに関する情報が入手しやすいこと」	25.8%
「選手や他のボランティアとの交流ができること」	22.7%

問19 障がい者スポーツへの関わりの有無（複数回答）

「新聞・ニュースなどで試合結果を見たり聞いたりしたことがある」	20.1%
「テレビで試合中継を観戦したことがある」	18.6%
「直接観戦したことがある」	2.8%
「大会のスタッフとして関わったことがある」	2.2%
「寄付などの間接的な支援活動に関わったことがある」	2.0%
※「関わったことがない」	67.2%

問20 障がい者スポーツ振興のために必要と感じるもの

「障がい者スポーツについての情報発信」	25.6%
「障がい者スポーツを観戦する機会」	12.6%
「優先的に障がい者スポーツができる場」	12.1%
「障がい者スポーツを体験する機会」	7.9%
「障がい者スポーツについての相談体制」	1.7%
※「特にない」	6.9%

テーマ4 自然と生物多様性について

札幌市では、自然や生物多様性を守り育てるための様々な保全の取組を行っています。そこで、皆さまの自然や生物多様性に対する意識をお聞きし、今後の保全活動の参考とさせていただきます。

問21 自然に関する興味（複数回答）

「自然の風景や景色」	76.0%
「動物やペット」	33.9%
「園芸・家庭菜園」	33.8%
「大気汚染や水質汚染などの環境問題」	33.6%
「植物」	32.0%

問22「生物多様性」の認知度

「意味まで知っていた」	28.6%
「言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」	28.4%
「知らなかった」	38.8%

《問22で「意味まで知っていた」、「言葉は知っていたが、意味までは知らなかった」と答えた方を対象》

問22-1「生物多様性」を知ったきっかけ（複数回答）

「テレビ・ラジオ」	61.0%
「新聞」	39.5%
「書籍」	22.4%
「中学校の授業」	11.4%
「高等学校の授業」	10.1%

問23「生物多様性」の保全につながる活動で行っているもの（複数回答）

「節電や適切な冷暖房温度の設定をしている」	56.2%
「地元の食材を選んで購入している」	51.5%
「旬の食材を選んで購入している」	41.7%
「生き物を飼育するときは最後まで責任を持って育てている」	38.5%
「外に出て自然と積極的に触れ合っている」	21.0%

《問23でいずれかの行動に○をつけた方を対象》

問23-1「生物多様性」保全行動で支障とを感じるもの（複数回答）

「行動の効果や成果が見えにくい」	32.8%
「どのような行動をしたらよいかわからない」	32.3%
「周囲の関心が低い」	19.6%
「時間がない」	14.2%
「お金がかかる」	11.4%

《問23で「上記の行動はしていない」と答えた方を対象》

問23-2「生物多様性」保全行動をしていない理由（複数回答）

「どのような行動をしたらよいかわからない」	34.6%
「生物多様性に関心がない」	12.9%
「行動の効果や成果が見えにくい」	11.4%
「面倒である」	11.4%
「時間がない」	10.3%

結果の概要は札幌市HPに掲載します。

[http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_enq/]